

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 学びの郷			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		～	2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		～	2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもひとりひとりの身近にいて支援していること。 子どもの得意とすることを見分けて伸ばしていく取組みをしている。小学校から高校まで長く通う児童が多い。	問題行動があっても、まずよく聞くこと。 子どもの家庭環境が様々なので、事業所で安心して過ごせるように職員の心遣いや職員同士もお互いによくコミュニケーションがとれている。	人員の増員や、問題点に関する会議を多くもつ。 高校卒業後の彼らの仕事等を意識してかわる。
2	職員が仲良しで子供に親切に接しているところ。 家族の様子や変化に合わせて子どもの心のケアもできる。	なるべく1日の中で色々なことに接することで、本人や家庭で抱えている問題をしっかり理解するよう務めている。	一人一人の特性を理解し、伸ばす、または避けるべきことを理解する。
3	多芸のスタッフが充実しているところ。	モバイル依存にならないように他の遊び等に興味を引いたり、建設的な活動にシフトするようにしている。	勉強スペースの改善を目標に改装する。 パソコンのクリエイティブな利用など実践的に行えるような体制を整える。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	不登校時への対応など午前中からの支援へのスタッフ配置が難しい。	午前中から配置するための人員が確保できないことが生じる。	シフトの仕組みを改善していく。 事前に活動予定をしっかりと立てておく。
2	それぞれの能力やニーズが違うので、能力が高い子たちが将来仕事をするためにスキルに合わせたサポート。	子どもたちが自分の将来をイメージして取り組むモチベーションになるものを親たちも意識高めないといけない。	親たちがその子の将来、たとえば高校に行くためにどんな事をして欲しいか子どもと話し合って明確になってない。
3	他の業務に追われ、施設の掃除や整理整頓が時々行き届かないことがある。	全員が気持ちよく過ごし、怪我などもなく過ごすためのクリンタイムを作る余裕が無い。	子供にも後片付けや整理整頓を一緒にやってもらう。 使った物や出した物を元の位置に返す習慣。